



本丸だより

令和3年度 第8号 令和3年11月30日(火)
新発田市立本丸中学校
新発田市緑町2-7-22
TEL 0254-22-2525
FAX 0254-22-0342
<https://honmaru.shibata.ed.jp/>



挑 戦 ～ 不安を力に ～

校長 三浦 学

笑顔の春に向けて、3年生の進路説明会が行われ受験への取組も本格化してきました。令和4年度生徒会役員も決定し、部活動の新人大会なども活発に行われています。男子バスケットボール部からは、将来の世代別日本代表候補に1名選出されました。また、科学部が県のいきいきわくわく科学賞で今年度も受賞し、実りの秋を結んでくれました。落ち着いてきたとはいえ冬に向け油断できない新型ウイルスの感染状況や不安・心配などから心が苦しくなりやすい中、日々寄り添い、見守り、支え続けていただいております保護者、ご家族、地域、市教育委員会・市当局の皆様には感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

誰でも心が苦しいときがある。そんなときは、どうしたらよいのか。11月11日の全校集会で話をしました。自分で抱え込まないで、誰かに話をしよう、相談しよう。家族や友達、先生など誰かに話をしよう。自分の弱さを出したくない、こんな話をしたら恥ずかしい、心配させたくないなどと考える必要はありません、と。学校だより先月号の「弱いロボット」の話のように、自分が弱さ、だめだと思ふことなども出す、話をすることがいい方向につながるのです。

話をされたら、相談されたら、「きょうしつ」と話をしました。「きづいて・よりそい・うけとめて・しんらいできる大人に・つなげよう」の頭文字です。保護者等の皆様におかれましても、何かありましたら、どうぞ遠慮なく学校にお話いただくようお願いいたします。

不安に彼は押しつぶされそうだった。貧しい幼少期。絵や漫画に魅せられ、アニメーターを経て会社を設立。著作権をめぐるトラブルなど苦節と波乱で眠れぬ夜もあった。最善を尽くし、やるだけやったと自分に言い聞かせることで心配と不安を封じ込めようとした。それでもなお、心配と不安はつきまとう。不安の中で苦しんでようやく、最善を尽くしたのなら、もうあれこれ心配するのはよそうじゃないかと思えて気持ちが楽になった。この「彼」、ウォルト・ディズニーさんは言います。「失敗したからって何なの？失敗から学びを得て、また挑戦すればいいじゃないか」。まさに不安を力に変えて挑戦し、夢と魔法の王国を築き上げたのです。

不安は大事にするもの。ダイソーを創業した矢野博丈さんは、妻の実家の養殖業を継いで倒産、夜逃げ。転職9回後、雑貨の移動販売。そしてダイソーを興すが大手スーパーから締め出されるなど苦勞の末、成功に至りました。そしてこう言います。「無理して明るい展望を描くより、心の中から湧き上がってくる不安を大事の方が、努力につながると思っています」。

成功は挑戦の先にある。「挑戦なくして成果を出すことはできない」(P. ドラッカー)のです
(参考・引用図書 向谷匡史 著『リーダーとは「言葉」である 行き詰まりを抜け出す77の名言・名演説』)

受験勉強。3年生は、行事も全て終わり受験に正面から向き合い集中するときを迎えています。不安が募り、逃げ出したくなることなどもあるかと思えます。2年生、1年生も部活動などで思うようにいかず不安になることもあるのではないのでしょうか。

岸見一郎さんは、人との結びつきを感じられる時に不安は取り除かれるといいいます。また、「今ここを生きる」、「今ここ」で充実した生を送ることも必要であると説きます。(『不安の哲学』より)

ディズニーさんも矢野さんも、不安の中でもがき、不安を大事にして努力し最善を尽くす。そうして不安をエネルギーに、不安を生かし力に変えて挑戦しました。生徒の皆さんが不安を力に挑戦し、友達、家族、先生などと共に、今ここを生き、充実した日々を送られることを願っています。保護者、ご家族、地域の皆様の変わらぬご支援をお願いいたします。